

2015年12月1日から2021年5月31日に

当院高齢診療科に入院された65歳以上の方へ

「高齢者入院のMultimorbidityとリハビリテーション介入がBarthel indexの改善に及ぼす影響」

1. 研究の対象

2015年12月1日から2021年5月31日の間に当院高齢診療科に入院となった65歳以上の方

2. 研究の期間

倫理審査委員会承認日～2025年3月31日

3. 研究目的および意義

高齢者は入院の原因となった疾患の改善にも関わらず、経口摂取困難、移動能力の低下、認知機能の低下などによるADL（日常生活動作）低下を認めることが多く、その結果退院困難となり、入院日数の延長や栄養投与経路の変更などが必要となる場合があります。また、高齢化社会の進行に伴い、multimorbidity（多疾患併存）を認める高齢者が増えており、様々な予後に影響を与えている可能性が高いと考えられます。さらに、患者の要素だけではなく、入院後のリハビリテーションの介入が入院中のADLの変化に影響を与える可能性が考えられます。

この研究では、当科に入院となった65歳以上の高齢者の患者さんの入院時のデータを用いてmultimorbidityの指標となるスコアを作成し、入院中のADL低下（Barthel indexの変化）に関連するか否かの検討を行います。

ADL改善に関連する因子を調べることにより、入院後の速やかな退院支援の導入や患者・患者家族への見通し説明などにつながる可能性があります。

4. 研究の方法

2015年12月から2021年5月の間に東京都健康長寿医療センター高齢診療科に入院となった65歳以上の患者さまについて、電子カルテから年齢、性別、併存疾患（神経精神疾患、心疾患、糖尿病、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、慢性腎臓病）、老年症候群（便秘、慢性疼痛、低栄養、嚥下障害）、入院時内服データ、Body mass index、Barthel index（入院前、入院時、退院時）、入院時DASC-21、入院前食事形

態、入院後のリハビリテーションの有無、採血項目（クレアチニン）、入院前ならびに退院先居住場所のデータを収集させていただきます。

新たに研究のために血液などを採取させていただくことはありません。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ情報：年齢、性別、併存疾患（神経精神疾患、心疾患、糖尿病、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、慢性腎臓病）、老年症候群（便秘、慢性疼痛、低栄養、嚥下障害）、入院時内服データ、Body mass index、Barthel index（入院前、入院時、退院時）、入院時 DASC-21、入院前食事形態、入院後のリハビリテーションの有無、採血項目（クレアチニン）、入院前ならびに退院先居住場所

6. 研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 岩切 理歌

研究分担者：東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 濱谷 広頌

東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 片岡 愛

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 岩切 理歌

問合せ窓口：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢診療科 濱谷 広頌

電話 03-3964-1141（平日 9：00～17：00）

e-mail hironobu_hamaya@tmghig.jp